

吉川前国連大使(本学客員教授)の特別講義が開催されました

2017.11.20



11月15日(水)吉川前国連大使(本学グローバル・コミュニケーション研究所客員教授)の特別講義が行われました。テーマを『北朝鮮の生い立ちと今後の展開』と題し、北朝鮮の建国から今日までをたどり、北朝鮮の地政学的意義を考察し、日本が今何をすべきかを考える、という内容でした。

外務省在外公館派遣員を目指す学生達を中心に、就職内定者や1・2・3年生も参加し、吉川先生の投げかける質問に挙手で答えるという熱気溢れる講義でした。真剣に取り組む学生たちには、あっという間の90分でしたが、終了後も列をなして個別の質問をする姿勢は、現在の北朝鮮問題に対する関心の高さを垣間見ることができました。当該研究ではこれからも出来る限りタイムリーな国際社会のテーマを取り上げて、皆さんと共に考え、それぞれの意見や考え方を発表する場を提供していきます。



なお、研究所が主催している「 $+ \alpha \cdot \beta$ 」グローバル教養講座では、幅広い教養科目(国語・社会・理科・数学・算数等)に加えて、現代キーワードについても学び、発表する。という学生が主体となって地道な学びの努力を継続しています。具体的には以下のことを目的としています。

1. 文理の枠を超えたグローバル教養として、出来るだけ多くの分野を統合したものから学ぶ。
2. 自分と異なる多様な文化的背景を持つ人々との出会いの場を自らが設け、様々なことを語り合うことにより、相手の立場に立って物事を見る目を養う。
3. 日本語できちんと筋道を立てて話し・書ける能力を養うと共に、自らがグローバルに発信し、世界の人々にも理解してもらえる説明(プレゼン)力を向上させる。

これから入学を希望される高校生もオブザーバーとして参加可能ですので、下記まで気軽にお問い合わせください。